

B007

- T: はい, じゃ, 始めましょうか (はい)。
 じゃ, 【I (姓)】さん (はい), 【I (名)】さん, どっちで呼んだほうが良かったんですって?。
- I: 【I (名)】, *** {笑}。
- T: 【I (名)】さん, 【I】さん。
 じゃ, お久しぶりです。
- I: お久しぶりです。
- T: 1年ぶりなんですけど…
- I: そうですね。
- T: ええ, この1年間どんなことありました?。
- I: いろんなことが (うん)。
 えっと, 変わらないんですけど, でも, やっぱ, 旦那が海外で (はい), そう, 親子3人で日本で頑張ってるんですけど, ちょっと大変だったんですけど, あと, うーん…
- T: 旦那さんは帰っていらっしゃる予定は?。
- I: はい。
 あ, 今年は10月ごろ帰ってくるの予定だったんですけど。
- T: えっと, もう, ずーっと, そのあとは日本にいらっしゃる?。
- I: ずっと, そう, そう, うん, ずっと海外に仕事するんですけど。
- T: え?。
- I: 転勤で。
- T: え?。
 い, い…
- I: 今は (あ, はい), こと, あの, 旦那が, あの, わたしの時間, ***にいるの, 仕事して (はい)。
 で, そして, あの, 子どものために, わたしと娘二人で日本にいます。
- T: はい (えー)。
 で, 旦那さんの将来の設計はどうなってるんですか?。
- I: は一。
 これ, まだ未来のことだから, 今言ってもわからないから。
- T: はい (うん)。
 じゃ, ずっと海外かもしれない。
- I: うん, そうみたい。
 そうね。
- T: ていうか, マレーシアかもしれないってことですね。
- I: だから, 人生, なんか, 変だね。
 なんか, ちかに行きたいんだけど行けないし, 行きたくないの人, やっぱ, マレーシア行ったもんね。
- T: ん?。
 行き?。
- I: そう。
 日本人なのに, なんで日本にいないで {笑} (はい), マレーシア人なのになんで日本にいるの {笑}。
- T: は一は一は一。
- I: うん (はい), そんな感じ。
- T: へー。
 去年, 確かお子さんの教育で悩んでらしたと思うんですけど, その後, お二人の教育方針はどうになりましたか?。
- I: うーん, 今は順調に行ってるんですけど (はい), やっぱ, 娘, 今, なんか, 上の子は, 今, 小学校4年生ですけど (はい), これから, なんか, 反抗期なってるみたいで, ちょっと心配ですね。
- T: うん (うん)。
 でも今, 順調とおっしゃるということは, とくに問題は感じてない。
- I: 順調。
 うん, 感じてない。
 前, なんか, よく, なんか, 学校で, あの, とうきゅ, 同じ年の女の子にいじめられてるみたいで, で, こ

B007

のまえ話ししたら、なんかよくなったんですけどもね。

T: はい〈うん〉。

え、そう、具体的にどんなことがあって、どういうふうに解決できた…

I: そんな、あの、おっきいじめじゃなくて、ただ、なんか、ほら、あの、うちの子、優しい {笑} って言わ、言われたんですけど、なんか、ほら、あの、一緒にいるとき、なにか取ってきてって、が、あの子に、あの子からね、あの、なんていうかな、{ブレス} 例えば、なにか、何々取ってきてって、持ってきたら、もういらぬとか、あと、なんか、あの、えっと、いろいろ {笑} 〈はい〉。

***。

T: え？。

I: 説明あんまりわからない。

説明、ちょっと…

T: 説明難しいですか。

I: えー、うーん、*。

T: えっと、それは、お子さん、お嬢さんがお母さんにお話しになるんですか？。

I: そうですね。

なんか、あの、学校で泣いたときあるのって聞いたら、うん、あるよって。

どうしたのって。

で、あの、いろいろ、なんか、ほら、なにか持ってきて、持ってきたら、なんか、いらぬとか、あと、うん、なんか、結構、こういう感じだったね。

こう、こ、この話だけ話ししたら、て、けっかく [結局]、なんか、先生、担任先生と話ししたら、やっぱり、あの子も、なんか、ストレス溜まって、弱い人に手出すになるんだよね。

でも、今年、えー、去年から、ぶんかつ [部活] 始まるんだから、で、あの子も、なんかが、ぶんかつ [部活] で忙しくて、それでなくなるの感じしたんだけど、あの、ほかの、ほかのお母さんたちと話、す、こういうことも話ししたんだけど、で、あの子も、あの、よその人もそういうことにしたよって言われたんだ。

うちの子じゃなかった、よかったなと思ったんだけど、ええ。

T: はい。

えーと…

I: そう。

T: クラスの中で…

I: そう。

クラスの中で、同じ、同じ年の人だったんだよね。

T: で、ほかのお子さんにもそれをやる。

I: そうそうそう〈ほー〉。

ほかのお母さんに、ほかのお母さんも、なんか、担任先生に言ったほういいよって言われたんだから、で、個人面談とき、ちょっと、担任の先生と話ししたんですけどね。

T: え〈うん〉、それは今は解決したということ。

I: 解決したようですけど、やっぱり、なんか、ぶんかつ [部活] はじめてから、なんか、忙しくて、もう、なんか、あの、話の時間もあまりなくて、それでよくなったみたいですね。

T: 学校ではいろんな部活があるんですか？。

I: あ、ミニバ、女の子はミニバスケだけ。

男は野球。

T: 2つ。

I: そう、2つしかない〈はい〉、人数あんまり少ないから。

T: はい。

I: うん、そう。

T: えーと、じゃ、お嬢さんはミニバスケに入って。

I: そうですね。

T: どんなふうな活動をするんですか？。

I: どんなふう…

T: えー、週に何回とか。

B007

- I : そー…
- T : どういう試合をやるとか。
- I : えっとね、1週間4回やるんですよね〈はい〉。
水曜日だけ休みます。
で、あの、1か月、1か月2回くらい、なんか、試合練習があり、あつて〈はい〉、え、1週間5回だよ、土曜日も入って、5回ですね。
- T : ふーん。
- I : そう {笑}。
だからすごい忙しい。
ただ水曜日だけ、あの、ピアノレッスン行って、それで、なんか、すごい忙しいみたいで、あの、ほんと、なんか、ぶんかつ [部活] 始めてから、すごい、なんか、自分もすくだけい [宿題] やらないといけないし、試験も、結構、なんか、4年生なってから、試験もけ、テストも結構いろいろ入ってくるんですよね〈はい〉。
で、それで忙しいと、忙しくて、あの、なんか、慣れるまで、ほんと大変だったね。
最初、なんか、ミニバスケットやめるってゆ、言ってたんだけど、でも、頑張つて、頑張つてって言ったから、今まで頑張つて、ほんと嬉しいだけ。
- T : {笑}、え、そういう部活はお子さんの成長にとってどんな意味があると思つてらっしゃいますか？。
- I : あ、とても {笑}、とてもいいと思うけど、体重も減らしたし、身長も伸びたし〈はい〉、なんか、自分も、なんか、忙しくて、あの、なんか、うーん、えっと、なんか、変なことあんまり考えられないかな {笑}。
- T : あ、忙しいほうが…
- I : そう、忙しいのほうがいいと思うけど。
あの、身長もすぐ、うちの子はクラスで一番、身長がないし、体重も一番、大きい、重だし {笑} 〈あー〉、ぶんかつ [部活] やれば、なんか、身長伸びれば、なんか、うん、よくなったんですけどね。
- T : あ、じゃ、部活を始めて、体格はちょうどよくなった。
- I : そうそうそう。
- T : うん〈うん〉。
ほかに部活をやることで、なんか、お子さんの成長にとっていいと思われることありますか？。
- I : うーん、やっぱり、あの、学校のみんなと、いいコミュニケーション。
- T : はい。
- I : うん。
なるんですよね。
で、うーん、で、お母さんたちにとって、やっぱり、なんか、送り迎えとき、なんか、あの、待つあいだに話ししたり、学校のこと話ししたりとか、それ、なんか、あの、いろんな情報も {笑}、とってきたんですけど。
- T : あー。
- I : うん。
とてもいいと思います。
- T : はい。
お子さんにとって、いいコミュニケーションってのはどんな…
- I : そう…
- T : こと…
- I : あの、うん、なかなか忙しいから、あの、遊び時間あんまりないよね〈あー〉。
で、その、あの、部活のなかに、なんか、みんなと遊んだり、遊んだ、練習したり、なんか、みんなと仲良くしたり、みたら、なんか、すごい、なんか、喜んでるだと思ふけど。
- T : ふーん〈うん〉。
で、お母さんはいろんな情報交換の場に…
- I : そう {笑}。
- T : どんな話をするんですか？。
- I : あの、例えば、明日のテストどこからとか、明日のPTA、PTA行くかとか、あと^は、最近、なんか、子どもの、あの、成長〈はい〉、なにか着ればいいのかとか、あの {笑} 〈ほー〉、そうですね、そんなこと、いろんな話ししたりとか〈うん〉するんですけど、やっぱりひとり、ここにいれば、あの〈はい〉、あの、えっと、

B007

夏、暖かい国から来て、で、日本の生活とか、あんまりわからないし、で、あの、子どものし、成長〈はい〉、として、例えばなに着るとか、あの、例えば、お {笑} …

T: おっばい？。

I: そう。

ふくらんで、どういうふうに着るとか、やっぱ、わからないし、で、みんなと話したり、結構恥ずかしいことですけど、でも、やっぱ、みんな話すれば、なんか、うん、い…

T: あ、子どもの服装の〈そうそうそうそう〉、を、どういうふうに〈うん〉成長に合わせて。

I: そうそうそうそう。

あと、えっと、だ、なんだっけ、うん、反抗期とか、そういうような話もしたんですけどね。

やっぱり、みんな、もう、始まったなって〈うん〉言われるんですけど、うん、結構いいと思います {笑}。

T: はい。

えー、ただ、最近、あの、子どもが塾に行ったりとか、部活で〈うん〉すごく忙しいから〈うん〉、ゆっくり、こう、考えたり〈うん〉、えー、する時間がない。

I: そう。

T: 自由な時間のなかで創造性が育つとか言われますけど〈うん〉、えー、【I】さんはどう思いますか？。

I: うーん。

でも、子どもは、なんか、自分のすくだい [宿題] とか、ぶんかつ [部活] のこともストレスあって、あの、土曜日、たまに、練習、試合がないですね。

で、その、その、一日中、なんか、自分ゆっくりしたりとか、ゲームやったりとか、なんか、ストレス解放みただけで、自分の、なんか、土曜日の日、一人、ゆっくりしたいって言われたんですけど、でも、なんか、一人にぼっち、あんまりよくないかなって思ったんですけどね。

T: え、どうしてよくない？。

I: うーん、なんか、人から、なんか、離れて、一人ぼっちになるのはあんまり良くないんじゃないの。

T: えー、【I】さんは、そう思われるんですね {笑}。

I: そう思ったんですけど {笑} 〈はい〉。

でも、なんか、うん、子ども、なんか、一人で、家で、ゆっくりして、なんか、結構、うん、ストレス解放みたいね。

T: うん。

I: そうだね。

T: はい。

えーと、じゃ、ちょっと話は変わるんですけど、3月3日って〈うん〉、ひなまつりでしたけど〈はい〉、【I】さんのお宅では、なんかやったんですか？。

I: あ、や、あ、去年と今年はやらなかったね。

あの、うちのじいさんは、あの、平成19年で亡くなって、それで、なんか、あの、3年間にひなま、ひな人形、飾れないって言われたんだから、去年と今年やらなかったの。

T: はー。

I: はい、そう。

T: えーと、飾らないっていうのは…

I: 飾らないですね。

T: それは…

I: いつも、あ、毎年は飾ってるんですけど〈はい〉、去年と今年だけ〈はい〉飾ってないです。

T: それは【地名1】の習慣ですか、それとも【I】家の習慣？。

I: 日本の習慣じゃないですか {笑} ？。

T: えー、あの、いろんな地域によって違うみたいなんですけど。

I: あー、そうですか。

やっぱり、あの、じいさんに対してね、あの、じいさんのことも大事にして、やっぱり2年やらないのほうがいいと思うけどね〈うん〉。

で、うちのお兄さんたちも、旦那のお兄さんたちも、うーん、やっぱり、2年、3年間にやらないのほうがいいと思うって言われたんだから、で、みんなの話〈うん〉、ね、やっぱり、聞いたほうがいいなと思って {笑}。

T: あ、はい、えーと、そういう、その、ひなまつりと、だけじゃなくて〈うん〉、お正月とかも3年間ですか？。

B007

- I : 正月は普通のとおりにやるんですけど、ただ、餅だけあがらない。
T : はい？。
I : 餅。
T : 餅？。
I : 餅，うん。
お餅。
T : お餅。
I : そう，丸のお餅。
あれ，なんて言うんだっけ…
T : まるもち。
I : かみ，かみもち？。
鏡餅？。
T : はい。
I : うん，それ，あがれないって言われたんですけど。
T : あがれない？。
I : そうですね。
T : あがれないっていうのは？。
I : うん，なんか，いつも，正月ときは，なんか，餅，餅は，あの，神様と仏様のところに，あの，置くんですよね〈はい〉。
で，それで，去年と今年やらなかった〈あー〉。
で，変わるの，えっと，じんじょ [神社] 行けない。
T : ん？。
I : 神社〈はい〉行けないと，あとなに***、…。
神社だけね。
T : えっと，それは次の年じゃなくて3年間。
I : 3年間で。
T : 3年間なんですか。
I : 家も直せないって言われたんね。
T : ほう。
そういう習慣について，どう思われますか？。
I : うーん。
やっぱり，亡くなったの人に大切な思い，さすれば，やっぱり，やらないのほうがいいと思うで，だけどもね {笑}。
T : え，それは，え，【I】さんの考えはいかがですか？。
I : わたしの考え*？。
T : はい。
I : うーん。
日本の習慣だから守らないといけないと思いますけど {笑}。
T : じゃ，マレーシアの習慣では，人が亡くなったあとに，どんな感じなんですか？。
I : うーん，どんな感じか。
T : たぶん宗教によって違うかなと思いますけど，【I】さんのお宅だったら。
I : えっと，1年間に，あの，大きな掃除できないですね。
壁ふくとか…
T : はい。
I : うん，そういうのできないみたい。
T : はい，ほかには？。
I : ほかには，その，亡くなったあとは，3，100日の間に赤い服を着られないの〈はー〉，どうしてかはわからないけど {笑}。
T : はい。
ほかにはないですか？。

B007

- I : ほかには、亡くなったの人には、うーん、あと、特にないですね。
ないですね。
- T : うん。
で、一応、日本の習慣だからって言われると〈うん〉、あの、変だなと思っても、それはやっぱり受け入れるべきだと思いますか？。
- I : 変と思わないよ〈はい〉。
そう、なんか、日本の習慣だから守る {笑}。
- T : 守る。
- I : そうです {笑}。
- T : うーん。
えー、でも、ひょっとしたら、それは日本の習慣じゃなくて、【I】家の習慣かもしれないし〈うーん〉、【地名1】けの習慣かもしれないですけど、それでも言われ、周りの人に言われると。
- I : うん。
そうだね、やっぱり人の目、やっぱり気にするんだよね。
なんで、あの、3年間、神社行けないなのに、なんで行くって言われたから、やっぱり、なんか、うん、気にするんですよ。
- T : え、なんで行くって言われたんですか、具体的に？。
- I : そう。
なんで、じいちゃん、まだ、あの、おじいさん、なんで3年、3年経ってないのになんで神社行ったとか言われたら、やっぱり気にするんですよ。
なんで、あの、日本の習慣ちゃんと守らないとか、そういうの気にするんですね。
- T : え、誰がですか？。
- I : ま、周りの人〈はい〉。
近所とか〈はい〉、親戚とか。
やっぱり親戚が一番、気にするんですよ〈はいはい〉。
うん、やっぱり、ちゃんと、主人は、去年だから、やっぱ、ちょ、あの、旦那がいないときは、やっぱり、あの、嫁の責任持たないといけないと思ったんですけど {笑}、それ古い考えかもしれないけど、自分、わたしとして、これは、うん、別に、あの、別に、なんか、守れば悪いことではないから、守ったほういいなと思いますけど {笑}。
- T : えー、じゃ、嫁の責任ということで今仰ったんですけど〈{笑}〉、なんか、お、おばあさんから教えてもらった〈ええ〉日本の料理で、えー、特に好きなものはありますか？。
- I : あー、おばあさん、わたし来てから、もう、ずっと入院したんだから〈あー〉、で、来て、嫁来て、3年^のあとは亡くなったんだから、ほんとは、なんか、お、うん、おばあさんと一緒になったときはないですね。
で、あの、料理とかは、あの、日本きて、ほんと料理全然できなくて、で、いろんな本買って、研究して、やってたんですけど、で、こっちも【人名1】先生からもいろいろ教えてくれたし、あと、いろんな人から聞いたりとか、そうしてたんだけど。
- T : ふーん〈{笑}〉。
はい。
えっと、お正月の料理とかは結局どうしたんですか？。
- I : あー、やっぱ、インターネット、{笑}、調べて、どういう料理作るとか。
あと、いろんな人。
やっぱり、適当に作るんだよね。
- T : どんなものを作ったか教えていただけますか？。
- I : えっと、どんな料理か。
えっと、、、え、なんで、えっと、31日の日はやっぱ刺身とか寿司とか食べてるんですけど〈うん〉、で、夜はおそば^で作った。
- T : はい。
- I : うん。
あと、次の日から、1日からずっと餅食べてます {笑}。
- T : 餅をどういうふうにして食べるんですか？。

B007

- I : えで、焼く、あとは、おつゆ。
あと、きなこつけて食べてるんですけど。
- T : おつゆ。
- I : うん、おつゆ。
- T : じゃ、そのおつゆの作り方を教えてもらえますか？。
- I : おつゆは、おつゆはなんだっけ、おつゆは、ただな、ほんだし買って、それで入れて、水入れて、あと、ねぎと豆腐と、ごぼう入れて、餅焼いてから入れて、それで食べています。
- T : お餅のほかにはなにも入らないんですか？。
- I : 入らないですね。
で、あの、わたしは、旦那の妹来てるんですけど、で、彼女は、なんか、いつも餅焼いて、それで、きなこ、きなこ砂糖と塩混ぜて、ただつけて食べてるんですけど {笑}。
- T : きなこと砂糖とし…
- I : きなこと砂糖と塩。
- T : はい〈うん〉。
えーと、マレーシアはお餅のような食べ物がありますか？。
- I : うん。
お餅のような、あるんですけど、でも甘いですね。
で、それ…
- T : え、どんなふうな感じなんでしょう？。
- I : どんな。
- T : 違いを教えてくださいませんか？。
- I : 違いは…
- T : 甘い。
- I : 甘いですね。
味ついてる。
あと、茶色ですよ。
- 砂糖のせいかな、よくわからないけど、うん。
あんまり食べないな、マレーシアいるとき。
- T : え？。
- I : マレーシアいるとき、あんまり食べていないですね。
正月なれば、やっぱり、なんか、魚とかエビとか、中華料理食べてるんです。
あと鍋とか。
- T : 鍋。
- I : そう、鍋。
- T : マレーシアって、なんか、暑いイメージがあるんですが…
- I : そうですね。
- T : マレーシアの鍋ってどんな鍋か教えてもらえますか？。
- I : そう。
みんなびっくりするかもしれないけど〈はい〉、あの、そういう鍋っていうか、ただ、なんか、ダシ、あの、鶏のダシとって、で、それで、なんか、肉とか、さ、野菜とか入れて、で、できたら、タレはからいのね。
あの、なんていうかな、辛い、あの、唐辛子いためて、それで、あの、できたの野菜とかつけて食べてるんです。
なんか、日本と同じだけど、でもダシ、タレだけ違うですね。
- T : えー…
- I : タレ。
- T : はい。
鍋の中には味は付いてない。
- I : 付いてないです〈はい〉。
あ、塩とかちょっと入れてますけど。
- T : で、タレはどんなタレなん、違う？。

B007

からい？。

I： からいですね，大好き {笑}。

T： 何が入ってるんですか？。

I： えーと，干したの唐辛子，ちょっとミックスして，で，それでニンニクとかタマネギとか入れて，で，油で炒めて，塩とか入れたんですけどね。

T： うーん，塩。

I： 塩。

T： はい。

I： そう，塩。

T： タレ…

I： で…

T： 水分 {笑} …

I： 水分，あの，干したの唐辛子は，なんか，ちょっと，1回，こ，そのまま食べれないから，で，1回お湯で煮て，それでミックス，あの，ムシんで…

T： ん？。

I： む，マシんで，なんかあるでしょ。

T： マシんで。

I： うん。

ミックス。

T： ミックス。

I： ミックスマシンある。

T： そして？。

I： うんうん。

T： あわ，混ぜて？。

I： そう。

ぼうちょう [包丁] で切ってもいいんだけど。

T： はい。

I： うん。

ちっちゃく切って。

T： はい。

T： うん。

I： つぶして 〈はい〉，つぶして。

T： つぶして？。

I： ええ 〈はい〉。

つぶしてじゃなくて，なんか，唐辛子も，なんか，あの，えっと，***の状態 〈はい〉，包丁で，トトと切って，それで油で炒めて。

T： はい。

I： うん。

タマネギとかニンニクとか入れて，それで，とてもおいしいです {笑}。

T： {笑} おいしそうな顔になりました。

たべ，タレっていても，こう，なんか，ペーストみたいな感じなんですかね？。

こう，つけて食べるっていうか，こう。

I： うん，そうだね 〈ふーん〉。

やっぱり，そうゆ，醤油でつける，食べるの人はいません {笑}。

T： はい {笑}，分かりました。

醤油，使わないでしたっけ，まったく？。

I： 醤油は，これは一番ち，一番違うですね。

うちだったら，あんなね，あの，マレーシア行ったら，あの，あの，点心，点心，あの，しゅ，シューマイ，あの，ギョーザ，あー…

T： あ，点心。

はい。

I : 点心食べりに行ったとき、あの、周りの人みんな、チリソースでつけて食べてるんですけど、旦那と、旦那の友だち、日本のかたね〈はい〉、みんな醤油、そうゆを頼んで食べてるんですけど、で、周りの人みたら、やっぱり、うん、これ、あの、この人たちは日本人ってわかるんですよ〈あー〉。

でも、普通、普段は唐辛子、チリソースでつけて食べてるんですよ。

そうゆ [醤油] つけて食べてるのはいません {笑} 〈はい、はいはい〉。

え、どういうふうに食べてますか？。

もし…

T : え、あの、醤油で食べますけど。

I : あー、そうですか。

T : チリソースでは食べたことがないですが。

I : {笑}、とてもおいしいと思うけど。

T : はい。

じゃ、最初、醤油で、あの、食べるのを見て〈うん〉、あの、びっくりなさったわけですよ〈うん〉。

それを自然だって思えるにはどれくらいかかりましたか？。

I : うーん。

わたしとして？。

T : はい。

I : うん、やっぱり、こっち来てから慣れてきますね。

***になんか行ったら〈うん〉、そうゆ、食べてるのは、もう珍しくないと思うけど {笑}。

T : あー、醤油で食べ*。

I : そう、醤油で食べてるんですけど、でも、わたしも、やっぱ、醤油で食べれないですね。

T : あ、食べれん。

I : チリソース。

T : チリソース。

I : チリソースつけて食べてるんですよ〈ふーん〉。

子どももわたしの真似して食べてるんです。

結構おいしいって言われてるんですけど、旦那だけなかなか変わらないです {笑}、醤油でつけて食べてるんですけど。

T : ふーん〈うん〉。

あの、ただ、えーと、その、チリソースで食べてると〈うん〉、普通の日本人と違うってことで…

I : そうですね。

T : それこそ、周りの人から変だって言われたりしませんか？。

I : うん、変と思いますね {笑}。

T : ええ、あの、すごくいいことかなと思うんですけど〈うん〉、やっぱ、いろんな食べ方があって〈うん〉、それを、あの、チリソースで食べても醤油で食べても〈うん〉いいんだよっていうのを、もっと、こう、広めていくためには〈あー〉、どういうふうにしたらいいんでしょうか？。

I : も、やっぱり、あの、マレーシアで生まれて、小さいから、もうチリソースで食べてるんだから、それでなかなか直れないと思うけど〈はい〉、逆に日本人は、あの、小さいからもう醤油つけて食べてるんだから、そっち行っても、やっぱり自分の習慣、あの、守るというか、もう慣れてるんですよ〈はい〉。

なかなか直らないでしょ {笑} 〈はい〉。

だから…

T : そしたら…

I : うん〈うん〉、もし広げるって言われても、うん、やっぱり、ずっとマレーシアに住めば変わるかもしれないね〈うん〉。

で、もし、マレーシアの人こっち来て、ずっと何年かの間、もう、日本で生活して、それで帰ったらたぶん醤油つけて食べる人もいられないけど〈うん〉、でもわたしは変わりません {笑}。

T : {笑}、だからマレーシアの人が来て〈うん〉、日本でチリソースをって食べてるのを見て〈うん〉、日本人が、あ、面白そうかもとか、それでもいいかもって思うような社会を作っていくためには、どう、なんかできることがありますか？。

B007

- I : それは、好きな、うん、それ、人の癖というか、人の勝手というね。
 なんか、チリソース食べればおいしいと思ら、思えば、チリソース食べてもいいし、醤油でつけて食べればおいしいと思うなら、うん、そう、あの、そうゆつけて食べてもいいと思うけど、別に、なんか、必ず。そうゆつけてとか、チリソースつけて食べるとか、そういうの、あの、強制じゃないですね（うん）。
 そうですね {笑}。
- T : そうですね。
 じゃ、今度やってみます、チリソース <{笑}>、はい {笑}。
 はい、じゃ、1つロールプレイをお願いしたいんですけど <はい>、えーと、【I】さん携帯電話使ってますよね？
- I : はい。
- T : じゃ、ちょっと、これ読んでいただいてもいいですか。
- I : はい。
 あなたは携帯電話を持っています。
 今月は、その携帯電話の電話代の請求が多くておかしいと感じています。
 それ、それを電話会社の人に話してください。
- T : いい、い、わかりました、意味、だいたい？
 裏に一応中国語も書いてあるんですけど。
- I : {小声で文面を読む}、あ、はい。
- T : 大丈夫ですか。
 で、【I】さんがその役で、わたしが電話会社の人になりますので <あー>、いいでしょうか。
- I : うん。
 はい、も…
- T : はい、ABC、えー、コミュニケーションでございます。
- I : うん、はい、え {笑}、今月が <はい>、今月の携帯電話の料金が、あの、いつもの通りが多くなりますので <はい>、あの、なにか違い、なにか、えっと、、、いつも通りと違うんですけど <はい>、うん、調べてくれますか？
- T : はい、はい、あの、わかりました。
 どのように、あの、違っておりますでしょうか？
- I : うん、料金、料金、電話代が <はい> いつもの通りと、あの、2倍も上がってるんですけど…
- T : あー、そうでございますか。
- I : 調べてください。
- T : はい、あの、いつもおいくらぐらいお使いの*…
- I : いつもは5千円くらい使うんですけど <はい>、今、来たのは <はい> 1万5千円なってるんですけど。
- T : あ、そうですか。
- I : はい。
- T : はい。
 えー、一応、こちらのほうは全部、機械で処理をしております <はい>、あの、とくに、え、そういう、あの、こちらの手違いでなにか起きる可能性は非常に低いんですけども <はい>、恐れ入ります、なんか、違う使い方、海外にお使いになったとか、どっかに置き忘れられたりとか、何か考えられる、あの、事情はございませんでしょうか？
- I : あの、こさい [国際] 電話はいつも家の電話使ってるんですけど、携帯電話なら、あの、えっと、あまり使わないですけど。
 なにか、うーん、なにか調べてほしい、調べてくれますか？
- T : はい。
 えーと、あと、えーと、インターネットなんかで、あの、メールを送られたときに海外経由なんかということが <あー> ございましたりしますので <はい>、そういう可能性はいかがでしょうか？
- I : はー、そういうば、なんか、結構インターネットでメールしたことはあるんですけど、じゃ、もう1回調べてみます {笑}。
- T : あ、おそれ…
- I : 家で {笑}。

B007

- T: 恐れ入ります。
じゃ、あの、もう一度お調べになって、納得がいかないときはまたお電話ということで。
- I: あ、はい。
あ、ありが、じゃ、よろしくをお願いします。
- T: はい、ありがとうございました。
- I: ありがとうございます。
- T: はい、ありがとうございます。
今まで携帯電話で、なんか不都合とかありましたか？ {笑}。
- I: あー、最初、なんか、あの、一番最初、買ったとき、なんか、メールアドレスで、あの、簡単のアドレス入れたんですけど、で、それで、1分間も何回もメール来てるんです。
- T: はー。
- I: そう。
それで、あの、携帯電話会社に相談して、やっぱメールアドレスに変えて、それで、なんか、良くなりました。
- でも今のアドレスはすごい難しくて <{笑}> {笑}。
- T: 自分でも覚えられない。
- I: そう、そうですね {笑}。
- T: でも、ま、迷惑メール対策ということで。
- I: うん、そうですね。
- T: はい、じゃ、今日はどうもありがとうございました。
- I: うん、ありがとうございます。
- T: はい。